



明治4年の徳島藩洲本城代家老の稲田家臣団の北海道移住から今年で150年。明治、大正と淡路島から北海道へは15000人もの開拓移住がありました。そのなかからは初代帯広町長の奥野小四郎父子、戦中戦後の混乱期10年にわたって北海道議会議長を務めた坂東秀太郎、又子孫達には芸術家の岡本太郎や作家の池澤夏樹、ボクシングチャンピオンの沼田義明、俳優の池辺良をはじめ、道議会議員、町長、JA組合長、牧場主など、各方面で現在も多彩に活躍する子孫達の姿があります。



16代・17代
道議会議長
坂東 秀太郎

北海道移住開始 150 年記念パネル展

『北の150年』

期間 令和3年9月4日(土)~26日(日) 10時30分~16時

会場 ショッピングセンター シーパ 南あわじ市湊110番地 0799-36-0150

主催 益習の集い 問合 090-3493-4708



後援 南あわじ市、洲本市、新ひだか町、新冠町、平取町

協力 ショッピングセンター シーパ

本事業は兵庫県淡路県民局の地域づくり応援事業の助成を受けて実施しています

